

## 黒の切り札亭 第1話「お魚を守れ！」

GM: 皆さんはこのザルツ地方のルキスラ帝国の都市、シグノの街にいます

GM: ここには「黒の切り札亭」という冒険者の店があり、店主のドワーフ・フォリッジさんのお眼鏡にかなう冒険者しか所属できません。

GM: で、この店の特徴は、あまり特定のパーティーを持つ冒険者がいないということ。

GM: つまり、依頼に合わせて随時パーティーを組むんですね。

GM: なので毎回メンバーは変わります

GM: ぶっちゃけ、いろんなPC やプレイヤーの方に参加してもらいたいののでww

リン:(プレイヤー発言) ぶっちゃけたー!?

GM: あはは。では、ここでいったん自己紹介タイム。

デューイ: 「ん、僕からかい？」

デューイ: 「それじゃあ名乗らせてもらおう。僕はデューイ・メルヴィルというものだ。訳あって冒険者をやっている。よろしくしてやってもいいよ」

GM: えらそう！ 15 歳なのにww

デューイ:(プレイヤー発言) すみません、のっけから失礼ですが、残念なことと思って生温かい目でお願ひします w 世間知らずのおぼっちゃまなので w

GM: 本名の方は隠してるってことでいいんですね？

デューイ:(プレイヤー発言) はい、そうです。皆さんも、あまり不快が過ぎたら言ってくださいね

ハサン:(プレイヤー発言) いえいえ、面白いですー

プラリネ:(プレイヤー発言) 大丈夫！！

クリス:(プレイヤー発言) 濃いキャラは歓迎！

GM: >デューイ 逆にいじりがいありそう・・・(うずうず)

デューイ:(プレイヤー発言) 優しい方ばかりでありがたいです wGM はお手柔らかに w

GM: >GM はいなー。では次の方ー。

リン: 「次はアタシかな？ん～っと、ここにいる皆は始めましてだよね？アタシはリネン・デア、今まで一緒に組んだ人達からはリンって呼ばれることが多いかな？」

GM: リルドラケンだ～

リン: 「あはは、あんまり頭よくないから魔法とかは使えないんだけどね。それでも薬とか使って手当てするのは得意だよ。」

リン: 「今日一緒に組むことになったのも何かの縁ってことで、アタシがみんな守ってあげるね！」

GM: >リン ビートルスキンにかぼうかあ。固いなあ狙いたくないなあ。

リン:>GM (プレイヤー発言) 初期作成自前で防護点 10 点(練技込)は密かな自慢でござい。

GM: では次ー

ハサン: 「ヤア！ タビットのハサンだよ！そしてこの小鳥(のヌイグルミ)が相棒のロドリゲス」

ハサン: 「はいロドリゲス、あいさつして」

ハサン: 「ロッド: ハラハッター」

GM: 腹話術wwwww

プラリネ:(プレイヤー発言) 腹話術きたー！！

ハサン: 「というわけでコンジャラーをやってるよ、よろしく！」

リン:(プレイヤー発言) これはまた濃そうな人が。

**デューイ:**(プレイヤー発言) ハサンさんにちょっと PL として質問よろしいですか？

**ハサン:**(プレイヤー発言) はいな？

**デューイ:**(プレイヤー発言) とても個性的な設定で面白いと思ったんですが、「見た目ちょっと違和感のある」タビットなんですか…？

**GM:**設定:【両親から「自分たちは実の親ではない、そしてお前はたぶんタビットでもない」と聞かされた】うん、見たらわかるwww

**クリス:**(プレイヤー発言) すごい設定だw

**GM:**まあ、そこは魔法か何かだとも思っておこう

**ハサン:**(プレイヤー発言) 子供の頃からタビットだと思って育てられれば第六感くらい身に付くかなーと

**GM:**後天的に身につくんだwww

**リン:**(プレイヤー発言) 重い話な気がするのに笑ってしまうのは何故でしょうね

**デューイ:**(プレイヤー発言) つまり、「あ、あれ…？タビットってこんなだったっけ…？まあいいか」くらいに思っていていいですかね？w

**GM:**ま、魔改造とかもある世界だしww

**ハサン:**(プレイヤー発言) いやむしろどこから見てもタビットじゃん！とっていただければw

**クリス:**(プレイヤー発言) この店に一般的なタビットがいなかったら、ハサンが一般的なタビットとして認識されるはずw

いや、それはおかしいだろうww

**GM:**ちょっと変わったタビットということでww

**GM:**というかみんな怖くてその件については触れないww

**デューイ:**(プレイヤー発言) 承知しました、割り込んでしまってすみません

**ハサン:**(プレイヤー発言) いえ、正直ツッコミ待ちな設定なので、助かりました～

**リン:**(プレイヤー発言) どうしよう。濃い人たちに挟まれて没個性になっちゃう

**GM:**了解。では次の方ー

**クリス:**「私はクリスティーナ・クライン。クリスでいいわ。」

**GM:**メイドさーん！（※クリスのキャラシート絵はメイド服である。）

**クリス:**「少し前にル＝ロウド様の声を聞いたので、冒険者になることにしたんだけど

**クリス:**「親に大反対されて、ルマ湖群から飛び出してきちゃった。」

**デューイ:**(ビクッ)

**GM:**>デューイ 琴線にふれるものがwww

**クリス:**「多少の神聖魔法と、料理は任せて！」

**プラリネ:**(プレイヤー発言) 新ジャンル神官メイド！

**GM:**>クリス よし、「黒の切り札亭」でアルバイトよろしく。いま決めた

**ハサン:**(プレイヤー発言) 職が決まったw

**GM:**>クリス そのかわり住み込みでいいからww

**プラリネ:**(プレイヤー発言) 待遇良し！！

**クリス:**>GM 了解w冒険に行っていないときは住み込みでのアルバイトですねw

**リン:**「クリスちゃんっていつもここのお店にいた子だよな？冒険もできたんだ～」

**GM:**うん、もしクリスが PC として参加できない時はお使いにでも出たことにしとくww

黒の切り札亭 NPC システム誕生の瞬間である。(マジ)

クリス:(プレイヤー発言) お使いか、あるいは普通にウェイトレスで出してくれても OK でことでw

GM:ちょっと隣のフェンディル王国とかww

クリス:(プレイヤー発言) 冒険者技能がないと危険な距離なお使いですねw

GM:>クリス うん、だからこそ貴重。うっかり一般人には頼めない

ハサン:(プレイヤー発言) 酔っ払いにサニティとかフォースとかかけられる、優秀な従業員さんですね! w

GM:>ハサン これは思わぬ拾い物ww

プラリネ:(プレイヤー発言) ハイスペック従業員!

クリス:(プレイヤー発言) GM のお役に立ててなによりです、自己紹介は以上ですね

GM:はい。では最後!

プラリネ:(プレイヤー発言) はい!

プラリネ:「プラリネ=デギゼだ。よろしく」

プラリネ:女 シャドウ 18歳 戦士

GM:シャドウかあ。……魔法効くかなあ。

デューイ:(プレイヤー発言) クールビューティーなシャドウきた!!

ハサン:「あら、てっきり男の子かと」

プラリネ:親を知らなくて、一人で迷ってたところをナイトメアに保護されて、数年いっしょに過ごす。

プラリネ:そんな親代わりも、依頼失敗して帰らぬ人に。ほとんどソロでふらふら冒険してます。

ハサン:(プレイヤー発言) 両親と円満な人がいないw

デューイ:>ハサン (プレイヤー発言) 確かに ww

リン:「アタシと1歳しか変わらないのに大人だ～。カッコイイなー」

ハサン:「ロッド:イキテリヤイコアルサー」

リン:「おお!? ロッドちゃんも大人だあ!!」

プラリネ:ただども、知力の足りないスカウトなので、抜けてるところもある

プラリネ:ファルシオン買うために宿代飛ばすとかね!

プラリネ:以上です!

GM:了解。ではシナリオ開始です

## 1. ようこそ!〈黒の切り札亭〉へ

GM:ここは冒険者の店「黒の切り札亭」

GM:時刻は昼前と言ったところ

GM:さて、みなさん1dをふってください。偶数なら店にいます

ハサン:1D6 合計:6 <6>

プラリネ:1D6 合計:1 <1>

リン:1D6 合計:3 <3>

デューイ:1D6 合計:2 <2>

クリス:1D6 合計:1 <1>

GM:じゃあ店にいるのはハサンとデューイね。

デューイ:「マスター! 紅茶をくれ」

GM:>デューイ フオリッジ「おう、相変わらず威勢がいいなボウズ」

GM: フォリッジ「あいよ」(紅茶)

デューイ: 「ふん…(スズ…)うん、まあまあかな」

GM: フォリッジ「お前さんみたいなのはブランデーもいらんじゃろ」

デューイ: 「ば、バカにするなよ！お酒だってちゃんと飲めるさ！僕はお茶の素のままの味が好きなのさ！」

GM: フォリッジ「ふん、じゃあ明日はブランデー入りを出してやるわ。目を回しても知らんぞ」

デューイ: 「む…の、飲んでやろうじゃないか…極上なやつを頼むよ！」

背伸びが可愛いなあ、デューイ。

GM: プラリネとリンとクリスはなにしているところかなー？

リン: (プレイヤー発言) 寝坊して店にダッシュ中？

プラリネ: ふらふらと店を目指して歩いています「…宿泊まれない」

リン: 「うわわわわわ！？もうお昼だよおー！お仕事残ってるかなー？」とか言いつつ走ってます

プラリネ: 「次の仕事探さないと。…ファルシオン高いな」ブツブツ

クリス: クリスはマスターに言われて、買い物中でしょう。

GM: >3人 了解、じゃあ好きなタイミングで店に来てくれていいからね。

リン: こっちは大慌てで走ってるしたどり着くのは遅いだろうなあ(演出は後回し)

プラリネ: 店のドアノブがチャッ「たのもー」

GM: フォリッジ「おお、プラリネじゃないか。しけた面しておって。まあ砂糖水でも飲め」

プラリネ: 「フォリッジ殿、仕事をください。金が無い…」

GM: >プラリネ 「ん？仕事か？」

プラリネ: 「…甘い。コーヒーが好きなんだが」

GM: >プラリネ フォリッジ「じゃあ金払うんだな。仕事ならないこともない」

プラリネ: >GM 「ああ、これを買ってしまつて金欠だ」ファルシオンチラチラ

GM: >プラリネ フォリッジ「ほほう、なかなかのものじゃないか」

プラリネ: >GM 「ああ、ずっと欲しくてたまらなくてつい…」

GM: >プラリネ フォリッジ「それで食い詰めてりゃ世話無いのう」

クリス: 店の裏口から帰宅し、軽く片付けてから表に出てきます。

GM: フォリッジ「おお、クリス。おかえり」

クリス: 「マスター、ただいま帰りました」

プラリネ: >クリス 「こんにちわ、クリス」

GM: >クリス 「じゃあ、買ってきた野菜は裏に入れておいてくれ」

ハサン: 「(野菜…食べたい！)」

クリス: >プラリネ 「こんにちはプラリネさん。ちょっと仕事してきますね。」と、また裏に引っ込むね

リン: 店のドアドン!「おはようございまーっす！マスターいつもの下さい！もうお腹ペコペコですよ」

リン: 「あとあと、まだ何かお仕事残ってますか？」

GM: >リン フォリッジ「おお、リンか。ほい、リルドラケン定食」

ハサン: (プレイヤー発言) 共食いつぽいネーミングだw

GM: (プレイヤー発言) >ハサン リルドラケンも満足のボリュームなのですww

リン: 「朝ごはん食べてなかったからもうお腹すいちゃって///」

プラリネ: 「仕事、欲しい早急に」ジリジリ

プラリネ: (ご飯も食べれない)泣き

クリス: そんなプラリネに、軽食を作って持ってきます

**プラリネ:** > クリス 「なんて優しい方だ…っ！！」涙目っ  
**クリス:** 「マスター、この分は私の給料から出しますね」ということで、3 ガメル支払っておきます。  
**GM:** > クリス フォリッジ「またそうやって甘やかす…」  
**プラリネ:** > クリス 「仕事して返すから！待っててくれ！」  
**クリス:** > プラリネ 「期待してるわね♪」  
**クリス:** (プレイヤー発言) こうやって店の客の人気を集めているのですw  
**プラリネ:** > クリス (プレイヤー発言) なるほどなw

意外と策士なクリスである。

**GM:** フォリッジ「仕事か。これにそこで野菜をにらんでるハサンも入れたら何とかなるかな？」  
**デューイ:** 「なんだい、仕事があるのかい？」  
**GM:** > デューイ フォリッジ「うむ、今日は集まりが悪くてな。夕方になったら依頼板に貼ろうと思っ  
てたんだが。  
**デューイ:** 「そうかいそうかい、記念すべき僕の初仕事だ。景気のいいのを頼むよ」  
**GM:** > プラリネ フォリッジ「そこのハサンも呼んできてくれ。5 人なら行けるだろう」  
**ハサン:** 「何？仕事の相談かい？」  
**プラリネ:** 「ハサン…？この人か？」マジマジ……異様な風貌にちょっと退く  
**GM:** > プラリネ フォリッジ「まあ、こう見えてタビットだし腕は確かだ」  
**プラリネ:** > GM 「そ、そうなのか。タビットか」内心キョドリ

無理もない。

**リン:** 「お～。今日はロッドちゃんも来てたんだ。おはよー！」  
**ハサン:** > リン 「ロッド:モウ昼ダゾネホスキー」  
**プラリネ:** (シャベッター————)  
**GM:** フォリッジ「さて、5 人そろったところで依頼の説明だが」  
**GM:** フォリッジ「あ、クリス。お前も人数に入れてるんでよろしく」  
**クリス:** > フォリッジ 「あら、私も必要となるとは珍しいですね。」  
**リン:** 「今日のお仕事はなんだろうな～。…ってええー！！？クリスちゃんも一緒って大丈夫なの？」  
**クリス:** > リン 「神官がちょうど出払ってるみたいね…」  
**リン:** 「そうなんだ～。頼りにしてるねっ」  
**GM:** ここからはざっと概要です  
**GM:** 依頼はこのシグノの街から3 日ほど歩いたサレブ村からです  
**GM:** この村は「マーモン」という川魚が特産の村なのですが、その貯蔵庫が荒らされたとのこと。  
**GM:** しかも村人によると蛮族の姿も見えたという。  
**GM:** そこで近くの街であるこの店に依頼が来ました。  
**デューイ:** 「ば、蛮族…っ」  
**GM:** 報酬は一人 500G  
**プラリネ:** 「ふむ。500G もあれば上等だ」やる気満々  
**ハサン:** 「と、とりあえずいくらか前金もらえないと、プラリネさん3日分の保存食買えないよ！」  
**GM:** 前金はそのうち 100G と往復分の保存食  
**ハサン:** 「良かったー」  
**リン:** 「アタシいっちばーん！もちろん受けるよ！」

プラリネ:「助かった！勿論私も受けるぞ！」

GM: 詳しくは村の村長さんに聞いてくださいとのこと。以上です。

デューイ:「3日も歩くのかい…馬車でも借りられたらいいのに…」

GM: >デューイ フォリッジ「借りるのは構わんが、金は払えよ」

デューイ:「ふんっ！馬車なんて安いもんじゃない…か…(財布見て)今日はちょっと歩きたい気分かな」

GM: フォリッジ「よし、じゃあこの依頼はお前たちに任せるぞ」

プラリネ:「ああ任せてくれ」キリッ

デューイ:「やってやるさ」

プラリネ:「ありがたいありがたい」

GM: 他に買いたいものがあつたら買い足しかまいません。

一同:(プレイヤー発言) はーい！

## 2. サレブ村の依頼

GM: では3日がたちました。サレブ村です。

デューイ:「つ、疲れた…」

プラリネ:「…着いたな、やっとな」

ハサン:「ロッド:サカナクサイザー」

クリス:「道中が無事でなによりです」

リン:「ここが、えーっと…サレブ村？だっけ。疲れたねー」

GM: >リン おいしいwww

リン: >GM (プレイヤー発言) 唯一の知力1桁だからしょうがない。

一同:(プレイヤー発言) ⑨じゃしょうがないww

GM: (プレイヤー発言) まあ、知力はともかく機転はプレイヤー次第だからww

デューイ: (プレイヤー発言) ああ、リンのキャラが固まってしまったw

リン: (プレイヤー発言) もうキャライメージが固定されていく

これ以後、リンの知力⑨はことあるごとにネタになる羽目になるのであった…。

GM: さて、村人たちはみなさんを遠巻きに見てますが、依頼した冒険者とわかると村長の家に案内してくれます。

GM: 村長「おお、あなた方が黒の切り札亭の冒険者の方々ですか」

プラリネ:「ああ、そうだ。よろしく頼む」

GM: 村長「お願いというのは、この村の特産品である【マーモン】のことについてです」

プラリネ:「ふむふむ」

デューイ:「あれはうまいな。ムニエルとか」

GM:「はい。マーモンは冬に採れる川魚でして、身もおいしいんですがそこから採れる卵は高級食材として重宝されています」

プラリネ:「卵は食べたこと無いな…」ホッ

クリス:「(.。o どう調理しようかなあ…」

リン:「こーきゅーしよくざい…」ジュルリ

デューイ: (高級だったのか…)

**プラリネ:** > デューイ (プレイヤー発言) ぼっちゃんめ!

**デューイ:** (プレイヤー発言) > プラリネ HAHHAH

**GM:** 村長「この村には昔【剣の迷宮】で氷と化した洞窟がありまして」

**GM:** 「その一部を氷室としてマーモンを保管して、夏に出荷しております」

**プラリネ:** 「それはまた、すごいところに保管してるな」

**デューイ:** 「なるほど、だから年間通して食べられるんだな」

**GM:** 「既に迷宮の魔剣は持ち去られ、入り口くらいしか残っていないのですが、先日大雨が降りまして。どうやら中の一部が崩れ、天然の洞窟とつながってしまったようです」

**GM:** 「しかも運の悪いことに、そこに蛮族が住み着いていたらしく、保管してたマーモンを大量に持ち去っていったのです」

**プラリネ:** 「食い逃げだな。それは許されない」キリッ

**デューイ:** 「蛮族が…」ゴクリ

**GM:** 「皆さんにはマーモンを取り返すか、最悪、蛮族を退治して氷室を使えるようにしていただきたい」

**GM:** 「洞窟までは村の者に案内させますので」以上です。

**リン:** 「うらやま…許せないよねっ！」

**プラリネ:** > リン 「ああ金は払わないとな！」

**ハサン:** 「何日前くらいの話ナンデスカー？」

**GM:** > ハサン 「1週間くらいまえです」

**GM:** まあ、そこらへんは枯れても剣の迷宮の効果といったところでしょうか。氷は解けるのに 10 日はかかります。

**ハサン:** 「オーウ。じゃあ急がないととタベラレチャウネー。」

**プラリネ:** > GM 「ふむ…蛮族の種類はわからないだろうか？」

**GM:** > プラリネ 村長「残念ながら…」見た人はセージ技能ないうえに暗かったので慌てて逃げたそうです

**プラリネ:** > GM 「ふむ。いやありがとう」考え込む

**クリス:** 「とりあえず、現場を調べるのが基本でしょうか？」

**ハサン:** 「じゃあまだ蛮族がこっちに出てきたりはしてないのデスネ」

**GM:** 「はい、扉に鍵かけてますので」

**GM:** 特になければ現場に案内するけど？

**リン:** (プレイヤー発言) 今聞いた情報を元にリンが魔物知識判定を！(1,1)…多分ミノタウロスの群れだね！

**デューイ:** (プレイヤー発言) > リン 逃げよう！ww

**プラリネ:** 「ミノタウロスだと！！」

**GM:** (プレイヤー発言) > リン 勝手に振ったふりでの1ゾロで 50 点はあげませんよwww

結局、「まずは現場を調べないと、手の打ちようがない」ということで、氷室に向かうことに。

**GM:** じゃあ移動するね。案内は村の若者。

**GM:** では洞窟。

**ハサン:** 「さすがに手入れが行き届いてマスネー」

**GM:** えーと、状況を説明しますと、冷気を逃がさないためと、獣除けのために洞窟には鉄で補強した木の扉。しかも門と南京錠のダブルロック。

**GM:** したがって、中から出てこようとしたら扉を壊さないと無理。でも扉は無事。

GM:つまり、蛮族はまだ出てきてないです。

GM:鍵は若者が持ってきてる。

全員で聞き耳や罨、足跡などを調べるも、異常は無し。

リン:「あなた達は既に1方向から包囲されています！すぐにとーこーしてください！」

プラリネ:「とーこー？しろ！」

GM:>リン 囲んでないwwww

クリス:>リン 「このあたりに敵はいないと思いますよ？」

リン:(プレイヤー発言) とりあえず罨あっても物理トラップなら大丈夫だろうしわっちが前に？

ハサン:「バックアタック念のため警戒して、プラサン後ろデスカネー」

相談すること20分。

GM:じゃあ隊列は、1列目がリンとクリス、2列目がハサンとプラリネ、最後尾がデューイでOK?

GM:明かりはプラリネのファルシオンとクリスのランタンね？

GM:戦闘になったら主動作で置くなら無事、補助動作で投げ捨てるなら割れるけどいい？

クリス:(プレイヤー発言) 戦闘で武器を使わないから問題ないよー

プラリネ:(プレイヤー発言) ですねー

GM:>クリス そか。じゃあ持ったままでもダメージ受けない限りは壊れないことにしよう。

GM:ダメージ受けたらダイスの神様に聞くわww

ハサン:(プレイヤー発言) うんうん

クリス:「ル=ロウド様、今日も加護をお与えください。」と、ラックを詠唱

クリス:2D6+5 合計:9 <2,2>+5

リン:(プレイヤー発言) ギャンブルの神様ぎりぎりっすね

プラリネ:剣ピカーツ

リン:「とっつけきー！」

GM:では、扉を開けます。ガチャガチャ。

GM:若者は村に帰ります。「皆さんご無事で！」

### 3. 初戦闘！

プラリネ:「さてどうなっているのか」

デューイ:(ビクビク)

リン:「さむいよーさむいよー」がたがた

ハサン:(プレイヤー発言) なんとなく、村人に閉じ込められそうな気がしてた

プラリネ:>GM 「ああ、君も気をつけて」

クリス:「蛮族と入れ違いにならなければいいのですが・・・」

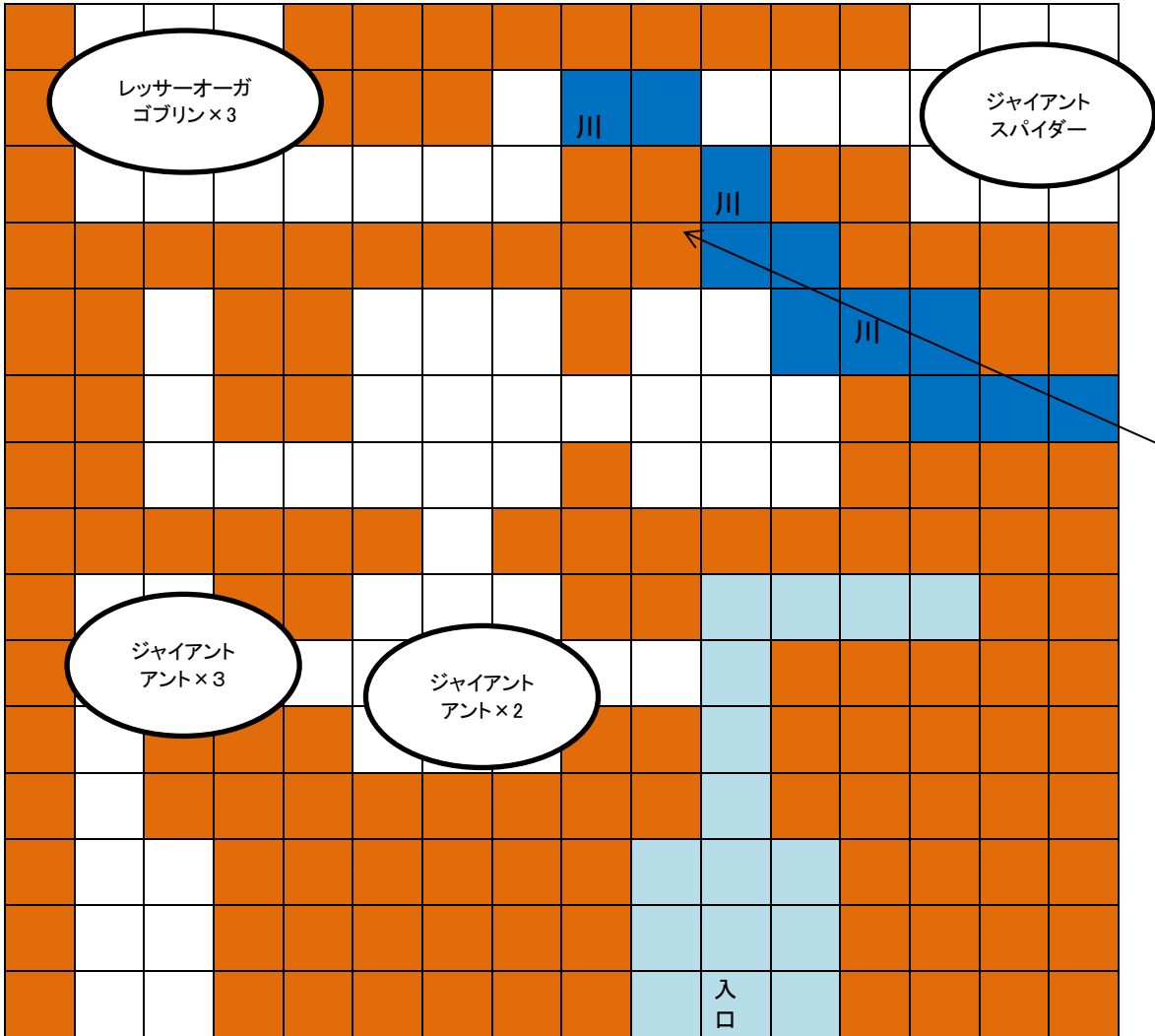
プラリネ:(プレイヤー発言) >ハサン 怖いなそれは

GM:では、ここからダンジョン。

GM:MAPをご覧ください。



(※GM 注: モンスターや奥の方の構造は、PL にはわかりません)



**プラリネ:**(プレイヤー発言) はーい！

**デューイ:**(プレイヤー発言) いよいよかー

**GM:** 入り口近くは足元凍ってます

**プラリネ:**(プレイヤー発言) 滑るなこれはー

**GM:** 今君たちがいるのは氷室。マーモンは残されてません。

**リン:**「うっわー、寒いと思ったら凍ってるよ。」

**プラリネ:**「つるつるだな」

**プラリネ:**「マーモンも無いな」

**GM:** 足跡は凍ってて残ってませんが、引きずった位ならあるかも。

**クリス:**「水中なら得意なのですが、氷上はちょっと・・・」

**プラリネ:**(プレイヤー発言) 探索だー！

**リン:**「寒いと眠くなるよね～」

**デューイ:**(プレイヤー発言) >リン 爬虫類 w

GM: 足跡追跡判定(スカウト or レンジャー+知力 B+2D)

プラリネ: 2D6+2 合計: 9 <1,6>+2

ハサン: 2D6+5 合計: 9 <3,1>+5

リン: 2D6+2 合計: 10 <4,4>+2

クリス: 2D6+4 合計: 10 <1,5>+4

デューイ: 2D6 合計: 11 <5,6>

リン: (プレイヤー発言) ヒラメ最強説再び

ハサン: (プレイヤー発言) 平目が一番高い件

プラリネ: (プレイヤー発言) すげえ

デューイ: (プレイヤー発言) なんかがめん…w

GM: 10 以上で分かります。どう見ても一匹じゃない。

デューイ: 「少なくとも一匹以上いるな」

プラリネ: 「わかるのかすごいな！」

リン: 「あった！あれと一これと～それもかな？いっぱいあるね！」

デューイ: >プラリネ 「ふ、ふん…僕にかかれればこれくらい簡単さ」///

プラリネ: >デューイ 「おまえすごいな」ニコニコ

デューイ: >プラリネ 「う…」///

クリス: 「やはり複数での犯行でしたか」

GM: ただ、5 匹もいないんじゃないかな？くらいはわかる。

GM: さて、まっすぐ行くと凍ってます。ただ、左の壁が崩れ、奥が岩肌。こっちは凍ってない。

プラリネ: 「繋がってしまったところか？」キョロリ

ハサン: 「この辺りが崩れたところデスネー」

リン: 「あっちの方があったかそうだしここで曲がろうよ！」

クリス: 「このあたりに足跡はありませんか？」

GM: >クリス 引きずった跡は左に続いている。

デューイ: 「やっぱり左か…蛮族も寒いだろうしな」

クリス: 「辿れるだけ足跡を辿ってみましょう」

プラリネ: 「そうだな」

リン: 「れっつごー！」

GM: 奥が広がってるっぽい。暗くてよく見えない。

クリス: (プレイヤー発言) 暗視持ち ノ

GM: >クリス そうだったそうだったwwでは何か動いてるのが分かります。

プラリネ: 「暗視」キラッ

リン: 「キリッ」(見えてない)

デューイ: 「暗い」

プラリネ: 「リンも見えるのかすごいな」

デューイ: 「え？なにか見えるのか？」

リン: 「アタシくらいになるとこれくらいよゆーよゆー」

プラリネ: 「最近のリルドラはハイスペックだな」感心

GM: 大きさは 1m くらい。もっと近づけばはっきり見えるかも

デューイ: (プレイヤー発言) なんかいるー！w

プラリネ: 「蠢いてるな…何か」

クリス:「何かありますね・・・2,30m 先でしょうか」

リン:(なんかいるのか・・・)「カサカサいってるよね」(適当

ハサン:「もうちょっと近づいてミマシウカ。静かに」

GM: 同じものが2体。魔物知識判定どぞ。セージ技能レベル+知力 B+2D

ハサン: 2D6+5 合計: 12 <3,4>+5

プラリネ: 2D6 合計: 3 <2,1>

リン: 2D6 合計: 10 <4,6>

クリス: 2D6 合計: 8 <3,5>

デューイ: 2D6+4 合計: 13 <6,3>+4

デューイ:「あ、あれは!？」

GM: 6 でわかりますね。ジャイアントアントです。

デューイ:「あれは…ジャイアントアントだ！」

GM: で、ハサンとデューイが弱点も抜きました。

プラリネ:「あれ、蟻か？」

GM: では改めて隠密判定(スカウト or レンジャー+敏捷 B+2D)

リンとデューイが失敗。

GM: 普通に気づかれました。では戦闘に入ります

クリス:(プレイヤー発言) 隠密は金属鎧ペナがはいると厳しいね

リン:(プレイヤー発言) ねー。

GM: では先制判定。(ころころ)そちらから!

デューイ:「口から吐く酸に気をつけろ！」

リン:「酸だー!! かかってこりゃー!」ブンブン

プラリネ:「前にいくぞ!!」ファルシオン振り回したくてたまらない

GM: あ、先に補助魔法かけなくていい?

デューイ:「たかが蟻ごとき！」

ハサン:「蟻だし、MP温存シタイデース」

リンとプラリネが前衛。残りの3人が後衛という陣形。

デューイ:(プレイヤー発言) まずは前衛の先生方おねがいします w

プラリネ:(プレイヤー発言) 私から行ってもいいですかー?

GM: >プラリネ どうぞ。回避は 9

プラリネ:「光るファルシオン受けてみろ! 蟻!」

プラリネ:(プレイヤー発言) 必殺攻撃宣言 A にいきます!

GM: 了解。どうぞ。

プラリネ: 2D6+5 合計: 8 <2,1>+5

GM: ひらりー

ハサン:「ま、まだ武器に慣れてないデスネー」

プラリネ:「蟻に!! かわされるなんて!!」ショック!

リン:(プレイヤー発言) プラリネにかばう宣言して盾放り投げて槍両手持ちして A にこーげきー

GM: 了解。回避は 9

リン:2D6+3 合計:13 <4,6>+3

リン:「くっらえ〜！」

GM:当たった。ダメージください

リン:R30C10+6 合計:15 <[6,3]> = <9>+6

クリス:(プレイヤー発言) 弱点でさらに+2されますね

ハサン:「ロッド:グッジョブー」

GM:えーと、ジャイアントアントの防護点が3、HPが9だから…一撃で死んだ！？

プラリネ:(プレイヤー発言) さすが！リルドラ！！

デューイ:「な、なかなかやるじゃないか」

プラリネ:「かっこいいなリン！」

リン:「えっへへーふいっ！」

クリス:「かっこいいです」

GM:後衛は何もしない？

ハサン:(プレイヤー発言) 踊ってます

リン:(プレイヤー発言) ハッスルダンスだ！

デューイ:(プレイヤー発言) うーん、じゃあもう一匹にエネボ撃ちます

デューイ:「僕だって！」

GM:了解。行使判定どうぞ

GM:抵抗は9

プラリネ:(プレイヤー発言) やっちゃえー！！

デューイ:2D6+5 合計:8 <2,1>+5

GM:抵抗。

プラリネ:「あの蟻しぶとっいっ」

デューイ:「うう…」

クリス:>デューイ「次こそ集中しましょう！」

GM:じゃあ、こっちの手番、行きますね。奇数だったら酸はこう

GM:1D6 合計:1 <1>

プラリネ:(プレイヤー発言) おおっと

デューイ:>クリス「あ、ありがとう…」

GM:対象は一、どっちにしてもリンかな？

プラリネ:(プレイヤー発言) かっこよすぎる背中

GM:>リン 生命抵抗判定。目標は10

リン:(プレイヤー発言) 特殊能力って庇えたっけ？とも思わないでもない

ハサン:(プレイヤー発言) 無理みたい

クリス:(プレイヤー発言) かばうのページ見てみると、魔法や特殊は無理だね

プラリネ:(プレイヤー発言) ですね！

リン:(プレイヤー発言) ということでダイスの神によって決まる？

GM:>リン そうなのかな？じゃあ、ダイスで決めよう。123でリン。456でプラリネ

プラリネ:ゴクリ

GM:1D6 合計:2 <2>

GM:どっちにしてもリンだったww

リン:(プレイヤー発言) ピンゾロチェックだ！

リン:2D6+7 合計:17 <6,4>+7

クリス:(プレイヤー発言) つええw  
プラリネ:(プレイヤー発言) つよすぐる  
リン:(プレイヤー発言) わーい

GM:ちえ、効果なし。そちらの手番。

デューイ:(プレイヤー発言) すごいなー

プラリネ:「一発当てたい…」

リン:「やったれー！」

クリス:「今度は大丈夫ですよ、がんばってー！」

プラリネ:(プレイヤー発言) では！残った蟻に普通に攻撃！！

プラリネ:>クリス「がんばる！」

GM:了解。回避は9

プラリネ:2D6+5 合計:16 <5,6>+5

GM:あたったー。

プラリネ:ダメージ行きます！

GM:どうぞ

プラリネ:R28C10+5 合計:21 <[5\_6],[1\_5]> = <10,6>+5

プラリネ:「でりゃあああああああ」

クリス:(プレイヤー発言) 回った！

GM:粉微塵wwwぶっしゃああああ！

プラリネ:(プレイヤー発言) 私はやったぞ！！

デューイ:(プレイヤー発言) すごい！オーバーキルだw

リン:(プレイヤー発言) 南無ー

クリス:>プラリネ「やりましたね！」

プラリネ:「ファルシオン最高…」ニコ

GM:はい、2匹ともつぶされましたー。

#### 4. 洞窟の先に待つ8本足

ハサン:「倒したのはいいけど、魚持って行ったのはコイツラじゃナサウデスネー」

デューイ:「蟻って魚食べるのか？」

プラリネ:「蟻は魚食べないよな？」

戦利品を剥いでる間に、リンとハサンが部屋を探索するも、目立った物は発見できず。

クリス:(プレイヤー発言) となると、部屋の出口から先を覗くくらいですか

GM:どっちから覗く？

リン:「こーゆーときは、棒を立てて…」

プラリネ:>リン「棒を立てるのか？ふむ」探索苦手で勉強中

リン:「倒れたほうに棒を全力で投げる？」

プラリネ:「むっ！！そうなのか？」首傾げ

クリス:>リン「そんな探索方があったなんて…勉強不足です」

**デューイ**:(プレイヤー発言) ⑨が拡大していく…w  
**プラリネ**:(プレイヤー発言) 危ないなw  
**GM**: 出口まで行けばちょっと先は見えます  
**プラリネ**:「結構…広そうな」  
**デューイ**:(プレイヤー発言) ふむ…  
**リン**:「面倒だしそのまますすもー！」  
**GM**: 左に進むと、暗がりでジャイアントアントが寝てますwwこんどは3匹。  
**GM**: 部屋に入るくらい近づかないと起きる気配はない。  
**プラリネ**:「また蟻…」コソリ  
**デューイ**:「…引き返して別の道も見てみるか？」  
**リン**:「しかしそっちに蜘蛛がいたら大変なことに!？」  
**プラリネ**:「襲ってこないの倒すのも気がひけるな」ホソリ  
**GM**: 入ったら隠密判定だからね。  
**クリス**:「目的は蛮族退治ですし、ここは一先ずおいておきませんか？」  
**デューイ**:「全員が成功する確率は低いしな…」  
**プラリネ**:「うむ。上を見てみよう一先ず」  
**リン**:「帰りに襲われませんよーにつ」  
**デューイ**:>リン 「不吉なこと言うなよ」

**GM**: じゃあ上の広場。ここは特に何も無い。  
**プラリネ**:「こちらは何も無いのか？」  
**クリス**:「足跡を探してみましようか」  
**GM**: OK、足跡判定どうぞ。  
**リン**:「なにかあるかなー？」  
**プラリネ**:「探そう」  
**デューイ**:2D6 合計:8 <4,4>  
**リン**:2D6+2 合計:11 <4,5>+2  
**クリス**:2D6+4 合計:12 <6,2>+4  
**ハサン**:2D6+5 合計:15 <4,6>+5  
**プラリネ**:2D6+2 合計:14 <6,6>+2  
**プラリネ**:(プレイヤー発言) きたー！！  
**クリス**:(プレイヤー発言) クリティカルきた！  
**ハサン**:(プレイヤー発言) GJー！  
**リン**:(プレイヤー発言) 荒ぶるダイスの神  
**デューイ**:(プレイヤー発言) ナイス！  
**プラリネ**:(プレイヤー発言) やっとスカウトぽいっ  
**GM**: じゃあわかった。足跡は右に続いている。  
**プラリネ**:「右か…」  
**GM**: あと、プラリネとハサンはさらに足跡が4匹分ということもわかる。  
**プラリネ**:「しかも、四匹もいるのか」  
**クリス**:「とりあえず覗いてみましよう」  
**GM**: じゃあ、その先は…壁から水が流れて川になってる  
**デューイ**:「まさか…サハギン？」  
**プラリネ**:「川…？こんなところに？」

クリス:「足跡があったのに居ない…川を渡ったのでしょうか？」

リン:「わーい川だー！」

GM: 向こうに跳ぶなら幅跳び判定(冒険者レベル+敏捷度 B+2D)ね。目標値は 10。

プラリネ:「渡るしかないか？」

GM: あ、エルフならそのままじゃぶじゃぶいけますけど。

クリス:(プレイヤー発言) 一人はリンが抱えて飛べる気がする

プラリネ:(プレイヤー発言) 飛べばいいよね！

リン:(プレイヤー発言) 設定上は 200kg までいけるよ？

GM: なるほど。じゃあ、リンが抱えて飛ぶならわたれて OK。ただし、一人につき〈風の翼〉は 1R 分使ったことにするよ

ハサン:(プレイヤー発言) 200kg なら全員いけるかね？

GM: 全員抱えるにはちょっと狭い。岩壁避けながらだから、全速力はないと思って。

プラリネ:「私は飛べそうだが…」

デューイ:(プレイヤー発言) クリスにロープを渡してもらって、それにつかまって渡るといのは？

GM: クリスが進むなら、エルフだし問題なく進める。

クリス: 冒険者セットからロープを取り出して、ロープの片側をリンに渡して、もう片側を持って警戒しつつ進んでみます

クリス: あ、ランタンは川を渡る前に床に置いてます

GM: 了解。

GM: じゃあわたれた。特に何も無い。

クリス: 顔を出して左右を覗いてみる。地形はどうなってるかな？

GM: 相変わらずの岩肌だね。右は、通路が続いてる。

GM: 左は、ちょっと折れ曲がってやっぱり通路。

GM: あと、左は川の続き。岩壁の中に続いている。

クリス: 暗視で見える範囲に敵がいなければ大丈夫かな、みんなを呼ぶよ

クリス:「とりあえず、ここに敵はいないみたい」

デューイ:「うう…水に濡れなきゃいけないのか」

GM: 皆を呼ぶ？ロープ伝うなら目標値は 8 でいいよ。

GM: 最後の一人は 10 だけど…ってリンが飛ぶかww

ハサン:「じゃあデューイ君はリンさんに運んでもらって、後は気合とロープで渡りましょうか」

デューイ:「お、そうかい？悪いね、よろしく頼むよ」

リン:(プレイヤー発言) ハサン大丈夫なのか。

クリス:(プレイヤー発言) >デューイ お姫様だっこで運ばれるんですねわかります

ハサン:(プレイヤー発言) チョロイチョロイ

GM: じゃあ、各自判定どうぞ

ハサン:「じゃあ行ッー」

GM: 幅跳び判定(冒険者レベル+敏捷度 B+2D)、目標値は 8.

ハサン: 2D6+4 合計: 9 <4,1>+4

GM: じゃあ 9 ね。渡れました。

ハサン:「侮れない奴デシタネー」

プラリネ: 2D6+5 合計: 10 <2,3>+5

プラリネ:「とりやつ」

クリス:>プラリネ 「さすがに身軽ですね」

リン:「殿下一、アタシたちも行きますよー」

デューイ:「いやぁ快適快適。くるしゅうない」

ハサン:「ヤゴトナイネー」

リン:(プレイヤー発言) ランタン拾ってデューイをお姫様だっこして飛んでくー

プラリネ:(プレイヤー発言) きゃーかっこいいー！

デューイ:>リン「うん、ご苦労。帰ったらうまいもん驕ってやるよ」

リン:「わーい！マーモンの卵食べてみたいですよー」

GM:全員渡れましたね。リン、風の翼1ラウンド減らしておいてね。

GM:さて、左と右、どっちに進む？左にはまた川が流れてるけど。

リン:(プレイヤー発言) 川後回しにして右？

クリス:(プレイヤー発言) ですね、全員で行けるところから行きましょう

ハサン:(プレイヤー発言) うんうん、次は溺れる気がする

GM:それじゃあね…

GM:でっかい8本足がお出迎え。目があいましたwww

プラリネ:あぎゃああ

デューイ:(プレイヤー発言) 八本足！？

リン:「タ〇バガニだー！」

プラリネ:「うまそうだ！」

デューイ:「絶対違う！！」w

GM:魔物知識判定 セージ技能レベル+知力 B+2D どぞ

クリス:2D6 合計:11 <5,6>

ハサン:2D6+5 合計:13 <6,2>+5

プラリネ:2D6 合計:9 <4,5>

デューイ:2D6+4 合計:11 <4,3>+4

リン:2D6 合計:5 <3,2>

GM:ハサンが弱点見抜いた。ジャイアントスパイダーですね。体長2m。

プラリネ:(プレイヤー発言) ハサンさんかっこいいいい

デューイ:「うげ…気持ち悪い」

GM:弱点は炎ダメージ+3

ハサン:(プレイヤー発言) 糸、糸に巻かれて死ぬんだよおお

プラリネ:(プレイヤー発言) いやー——

GM:「キシャー！」と威嚇してます。足元にはいくつか骨になった亡骸も。

リン:(プレイヤー発言) めとめがあうー♪瞬間で一きだと気づいたー

GM:>リン wwwwwwwwwww

プラリネ:「これは、強そうな蜘蛛だな」

クリス:「速攻で仕留めないとまずいです」

クリス:(プレイヤー発言) >リン www

リン:「ただ……蛮族じゃないからこれもはずれ？」

GM:「キシャー！キシャー！」

プラリネ:「うむ…どこにいるんだ蛮族」

リン:「がおー！がおーっ！」

ハサン:「あの骨蛮族ジャネ？」

クリス:「この蜘蛛に食べられちゃった？それとも他に道が…？」

GM:あ、それはちがうとわかる。明らかに骨格が違う。



GM:服とかも解けてボロボロになってるし、人間の骨ですね。

デューイ:「そんなことより目の前の敵だよー！！」

デューイ:サーッ(血の気の引く音)

GM:どうします？

デューイ:(プレイヤー発言) やっちまおう

プラリネ:(プレイヤー発言) 村人のところまで行くな倒すけど

ハサン:(プレイヤー発言) サクっと倒しましょうか、人に被害出てるし

リン:(プレイヤー発言) OHANASHI(物理)でわかってもらおう

クリス:(プレイヤー発言) 逃げようにも、川があるから逃げれなさそうだし、倒すしか？

プラリネ:(プレイヤー発言) 倒すか★

GM:OKじゃあ戦闘です。

GM:まずは先制判定。こちらは10。(ころころ)どうぞ、そちらから

クリス:味方全員へフィールドプロテクション！

クリス:2D6 合計:4 <1,3>

GM:>クリス かかりました

ハサン:「アリアター」

クリス:「まずは守りを固めます」

プラリネ:「恩に着るっ」

GM:各自、攻撃くらうとき1点引いて計算してくださいね。

ハサン:前線エリアにダークミスト

ハサン:2D6+6 合計:13 <2,5>+6

GM:かかりましたー。以後、回避が-2かあ。

ハサン:「ロッド:アトハガンバレ脳筋好ー」

リン:「もやもやする・・・」

プラリネ:「うむ。では行くぞ」たたっ

GM:さあ、かかってこーい

プラリネ:(プレイヤー発言) 補助でキャッツアイ使用！

プラリネ:(プレイヤー発言) 必殺攻撃宣言！蜘蛛に攻撃！

GM:プラリネ、MP9しかないのか。連技3回しかつかえないじゃん

プラリネ:>GM (プレイヤー発言) うんまあね

プラリネ:「蜘蛛、覚悟！」

GM:回避は9 キャッツアイはそちらで

プラリネ:2D6+6 合計:13 <3,4>+6

GM:あたり。ダメージ下さい

プラリネ:R28C9+5 合計:11 <[4\_3]> = <6>+5

GM:10点くらった。

プラリネ:「むうっ」

リン:(プレイヤー発言) ビートル使って移動してかぼうかけて尻尾ー

GM:はい、どうぞ

リン:2D6+4 合計:15 <5,6>+4

リン:(プレイヤー発言) くっ。槍でよかった。

GM:あたり。ダメージどうぞ

リン:R11C12+6 合計:9 <[3\_4]> = <3>+6

GM:8点。生き残った！  
リン:「てーい！」  
プラリネ:「まだだっ！」  
GM:「きしゃあああああ！」  
デューイ:「お待ちかねつくぞっ！」  
GM:しまった、まだいたんだったww  
デューイ:(プレイヤー発言)「エネボ」いきます！  
デューイ:2D6+5 合計:15 <6,4>+5  
GM:抵抗できない！まともにくらった！  
デューイ:(プレイヤー発言) よっし！  
デューイ:R10C10+5 合計:9 <[2\_6]> = <4>+5  
デューイ:「くらえっ！」  
GM:ジュワツと焦げるにおいがして…ずずーん  
デューイ:ドヤア…  
クリス:「お見事！」  
ハサン:(プレイヤー発言) GJ～  
プラリネ:「かっこいいな！魔法！」  
GM:うう、1回も攻撃できなかった…ww  
リン:「くろこげー」  
プラリネ:「これは食べれないな」  
デューイ:「これが実力さっ」ムフー

さらに、戦利品を剥いでる間、被害者の遺体から500G相当の宝石を発見するデューイ。

デューイ:「こ、これは！」  
プラリネ:「おおっやったな！」  
GM:他は何もないです。蛮族の痕跡もなし。  
リン:「だれかたすけて～」  
GM:>リン からまってるwww  
クリス:「あわわわ」  
プラリネ:>リン 「おおっと解くぞー！」よっこらっしょ  
デューイ:「あーあーなにやってんだよもう…」ナイフで糸を切る  
リン:「ありがとー、もう少しでミイラになるとこだったよー」  
GM:リルドラケンのミイラ…やっぱ鱗かなあ

## 5. 最奥で待つもの

リン:(プレイヤー発言) さて次は…川でありますか  
プラリネ:(プレイヤー発言) 川だねー  
デューイ:じー(リンを見る)  
クリス:前回同様、クリスが先行して様子を見てみます  
GM:>クリス 了解。こちらもわたる分には問題なし。  
クリス:さらにその先をこっそり覗いてみる。前回同様、ランタンはリンのところにあります

リン:(プレイヤー発言) ここは判定なしで進んでいいのだろうか…

GM:>リン あ、判定は前と同じ。目標値 10

GM:>リン 空飛ぶなら同じく1人につき風の翼1Rね。

クリス:「先ほどと同様の方法で渡りましょう」

プラリネ:「うむ」

GM:>クリス ロープ作戦ね。なら目標値は8

リン:(プレイヤー発言) 帰りに何があるかわからないから運ぶのは多くても2人までにしたい？  
みたいな

ハサン:「では行キマスゾー」

ハサン:2D6+3 合計:14 <6,5>+3

GM:また無駄にいい目を出してwww

プラリネ:「すごいぞ！」

ハサン:「助走、助走がダイジネ」

デューイ:「さすが兎だな」

クリス:「さすがですね」

プラリネ:「あ、そうだな。ウサギダナ」

GM:じゃあ、次はプラリネ

プラリネ:(プレイヤー発言) >GM 助走つけて飛び越えてもいいですか？

GM:ん、いいけどロープ伝うんだよね？

プラリネ:(プレイヤー発言) あっそうか。普通にロープでいきます！

GM:それに目標値8なら1ゾロ以外成功でしょ、プラリネ

プラリネ:2D6+5 合計:10 <4,1>+5

GM:ほい成功。

プラリネ:「ふーっ」

リン:(プレイヤー発言) ということでランタンと殿下を拾って助走つけて飛びます！

デューイ:ぐっ(サムズアップ)

GM:>リン 便利だなあ風の翼

デューイ:(プレイヤー発言) リルドラいいですよー

プラリネ:(プレイヤー発言) リルドラいいな！

リン:(プレイヤー発言) 戦闘用のはずなんだけどなー

GM:(やはり魔法で集中砲火か……)

デューイ:(プレイヤー発言) なんか怖いこと考えてるw

プラリネ:(プレイヤー発言) >GM 怖い

GM:いやまあ、一般論としてね？

GM:さて、川を越えたあたりで、奥の方から話し声が聞こえます。大声なんで判定なく聞こえます

プラリネ:「む、何か…」

GM:ただ、意味は…あ、デューイとハサンが分かる。

GM:汎用蛮族語ですね。

デューイ:(プレイヤー発言) ようやく蛮族か…

リン:「えーっと？…『やはりスク水を着てきてよかった。泳ぐのが楽だ』だってさ。」

GM:>リン なんでwww

プラリネ:「なんと！蛮族が水着！！」

デューイ:「適当言うなw」

クリス:(プレイヤー発言) >リン 「え？ええ？」(混乱中)

GM:「おい、まだ食えんのか！はらへったぞ！」「まだですよ！」「早くしねえとお前食うぞ！」「ぎゃあ！」みたいなかんじ。

デューイ:「なんか料理してるっぽいな」

プラリネ:「そうなのか？」

デューイ:「早く食いたいとかまだだとか言ってる」

GM:あと、何かと何かをぶつける音。こーんこーんがんがんがんみたいな

クリス:「こっちに気付いてないなら、このまま魔法を打ち込みましょう」

リン:GM:「お前スク水とか何言ってるんだ！ビキニだろ！」「スク水最高ですよ！」「うるせえビキニ着せんぞ」「ぎゃあ！」みたいなかんじ。

GM:>リン そんなことは言っていないwww

プラリネ:「レベル高いな蛮族！」

ハサン:(プレイヤー発言) www

クリス:(プレイヤー発言) >リン どうしてこうなったwwwwwww

GM:さて、どうします？

作戦会議の結果、魔物の正体がわからない以上、がっちがちに守りを固めて急襲するしかないという結論に。

クリスがフィールドプロテクション、ハサンはカンタマ&プロテク。

言葉から相手が蛮族である可能性を考え、クリスは突入後すぐに《バニッシュ》、ハサンも敵次第ではファナティズムをとるという手はずになった。

GM:じゃあ突撃ですね？

ハサン:「ヒヤッファー！」

プラリネ:「うむっ」

クリス:(プレイヤー発言) 詠唱で気付かないとは、よっぽど周りが見えてないのか

GM:>クリス ガンガン叩いてるしねえ

GM:まあ、皆さんがガシヤガシヤいいながら部屋に入ると流石に気づきました。

リン:「そこまでだ！貴様達の行ってきた数々の狼藉、今ここで清算するべしっ！」キリッ

リン:(プレイヤー発言) ただし伝わらない

プラリネ:「金は払えっ！」

プラリネ:(プレイヤー発言) 言うだけ言うだけ

GM:はい、では、魔物知識判定をどうぞ。セージ技能レベル+知力 B+2D

一同:(コロコロ×10)

GM:大はレッサーオーガ、小さいのはゴブリン×3体です。

GM:レッサーオーガはちょっと普通より強そう

デューイ:「れ、レッサーオーガ！！」

プラリネ:「魔法くるな」

GM:では先制判定行きましょう。こちらの先制値は 13

なんとここで全員が失敗。これは先手足られたかと思いきや・・・

クリス:ラックの効果を使って振り直す！

クリス:2D6+3 合計:14 <5,6>+3

デューイ:(プレイヤー発言) おおっ

リン:(プレイヤー発言) おー

ハサン:(プレイヤー発言) これはかっこいい！

プラリネ:(プレイヤー発言) >クリス かつよすぎ！！

リン:(プレイヤー発言) 流石ルロスカ

デューイ:(プレイヤー発言) いい仕事です

ちえ、後ろから魔法撃ちたかったなあ。

クリス:「ル＝ロウド様、ありがとうございます」

プラリネ:「すごい神様だなっ」

クリス:(プレイヤー発言) ハサンは支援か、前線ヘスパークか？

ハサン:(プレイヤー発言) >クリス では結果次第で考えますー

クリス:蛮族全員へバニッシュ

クリス:2D6+5 合計:10 <3,2>+5

GM:全員抵抗！やた♪

クリス:「くっ・・・効きませんか」

ハサン:ならば【範囲拡大/数】でリンとプラちゃんにファナティシズム

GM:どうぞ

ハサン:2D6 合計:5 <2,3>

GM:はいかかった。それぞれ命中+2、回避-2 のセットね

プラリネ:「うおおおこれは当たる気がする！ありがとう！」

プラリネ:(プレイヤー発言) 前出て一応キャッツアイ！

GM:そちら、弱点抜いてるから命中+1 ね

プラリネ:(プレイヤー発言) レサオガに必殺攻撃！いきます！

GM:どうぞ

プラリネ:2D6+9 合計:18 <6,3>+9

GM:あたってるー

ハサン:(プレイヤー発言) ワクワク

プラリネ:「いくぞっ」

プラリネ:R28C9+5 合計:7 <[2\_1]> = <2>+5

GM:5 てんくらった

プラリネ:「うっ」

デューイ:(プレイヤー発言) ああ・・・

プラリネ:(プレイヤー発言) まわらないなー

リン:(プレイヤー発言) ま・・・まあ逆なら外れてたんだし・・・

GM:次はリン？

ハサン:(プレイヤー発言) 必殺のデメリットがかばうで消えるっていいですねー、コンビっぼくて

リン:(プレイヤー発言) うむす。ビートル→制圧前進→かばう→尻尾をオーガに

プラリネ:(プレイヤー発言) すごく助かる!  
リン:(プレイヤー発言) 翼はまだいいかなー  
GM:>リン 了解。こちらの回避は 12  
リン:2D6+7 合計:16 <3,6>+7  
GM:あたってー  
プラリネ:(プレイヤー発言) やっちゃえ!  
リン:R11C12+6 合計:9 <[6\_1]> = <3>+6  
リン:「ええいっ」  
GM:7点か…ちょっと痛い  
GM:次はデューイ?  
デューイ:はい「エネボいくぞー」もちろんレサオに  
デューイ:2D6+5 合計:13 <4,4>+5  
GM:抵抗!  
デューイ:<そっ…ギリギリ足りなかった  
デューイ:R10C10+5 合計:8 <[2\_5]> = <3>+5  
デューイ:4点!  
GM:とはいえ、痛いものは痛いんだよなあ

GM:じゃあこちらの手番ですね! ようやくまともに攻撃できる(泣)

プラリネ:(プレイヤー発言) ですね!  
GM:まずはれっさーが、殴ります。痛かったリンの方に。  
GM:>リン 12と言って殴ります  
リン:2D6+1 合計:3 <1,1>+1  
プラリネ:(プレイヤー発言) オウフ  
リン:(プレイヤー発言) ごじってーん…防御ファンブルなくてよかった  
ハサン:「ロッド:ド、ドンマイダゼー」  
GM:ではダメージをば。  
GM:2D6+4 合計:16 <6,6>+4  
リン:(プレイヤー発言) !?  
デューイ:(プレイヤー発言) きよくたーん  
GM:>デューイ 俺も驚いたwww  
リン:「あたっ!」  
リン:(プレイヤー発言) ダメージ5てーん  
プラリネ:(プレイヤー発言) しかし5点  
クリス:(プレイヤー発言) 固っ! さすがメイン盾  
リン:(プレイヤー発言) 期待値なら止められる。が6ゾロは無理だと思うます  
GM:ぐすん、じゃあゴブリン左からABCがなぐります。

プラリネをかばってることもあり、ゴブリン3体の攻撃は全部リンに命中。だが…

プラリネ:(プレイヤー発言) ダメージ…1  
GM:しくしく  
デューイ:(プレイヤー発言) すっげー  
プラリネ:(プレイヤー発言) かっこいいい!!

リン:(プレイヤー発言) カキンペンツカキン

クリス:(プレイヤー発言) リルドラまじパネew

GM:えーん。学習した。次は魔法つかう。

プラリネ:「リンツすまないって…大丈夫そうだなっ」

リン:「めっちゃくちゃよゆうだよっ！」

GM:2ターン目！そちらどうぞ！

クリス:もう一回バニッシュ！

クリス:2D6+5 合計:15 <5,5>+5

GM:ぎゃあああああああ

プラリネ:(プレイヤー発言) やったあつあああつあ

デューイ:(プレイヤー発言) きた！

GM:効果4回振って。

クリス:効果、レッサー、ABCの順で8d振ります

クリス:8D6 合計:20 <5,2,5,1,1,1,3,2>

GM:7、6、2、5か

クリス:Bがバーサーク、他が判定-1

リン:(プレイヤー発言) 当てやすくなったー

ハサン:(プレイヤー発言) スパークうっていいかにゃ？

クリス:(プレイヤー発言) >ハサン せめてプロテクションしてからにしてw

GM:>クリス これをリンにプロテクションなんてされた日にゃ悲鳴あげるわwww

クリス:(プレイヤー発言) そうか、リンはHPで、プラリネは高抵抗だから巻き込んでも大丈夫な可能性が高いのか。

プラリネ:(プレイヤー発言) 抵抗すりゃいいかー

ハサン:>GM ではスパークにしますー

プラリネ:(プレイヤー発言) 抵抗する！

ハサン:(プレイヤー発言) 巻き込まれない1人を1d振りますね

ハサン:1リン 2プラ 3レッサー 4A 5B 6C

ハサン:1D6 合計:1 <1>

プラリネ:(プレイヤー発言) おっ！

ハサン:(プレイヤー発言) ホッ

デューイ:(プレイヤー発言) いい感じ

ハサン:2D6+6 合計:9 <1,2>+6

GM:抵抗したー

ハサン:ROC13+6 合計:8 <[3\_4]> = <2>+6

デューイ:(プレイヤー発言) ぐぬぬ…

ハサン:(プレイヤー発言) 残念ー

GM:でもゴブは弱点で+2だから6点w

プラリネ:(プレイヤー発言) いえーい！

デューイ:(プレイヤー発言) 割と行くもんですね w

GM:もっかい来たら危うく戦線崩壊

GM:次は誰かな？

デューイ:エネボいきますー

プラリネ:>デューイ (プレイヤー発言) やっちゃえ！

デューイ:じゃあレッサーオーガで

GM:どうぞ。抵抗は13

デューイ:2D6+5 合計:8 <2,1>+5

デューイ:R10C10+5 合計:8 <[2\_4]> = <3>+5

GM:抵抗!「ふはははっははははは」

デューイ:「こなくそー」

プラリネ:「調子に乗るなよ食い逃げめっ」

プラリネ:(プレイヤー発言) レサオガに必殺攻撃行きます!

GM:来なさい!回避は11

リン:「くるくまわーる、くーるくまわーる」

プラリネ:2D6+9 合計:13 <2,2>+9

GM:「ぐはああっ」

GM:ダメージどうぞ!

プラリネ:(プレイヤー発言) ダメージ!

プラリネ:R28C9+5 合計:13 <[2\_6]> = <8>+5

プラリネ:(プレイヤー発言) 回らんー

GM:すっごく痛い

リン:「がっおーん!」

プラリネ:「やってしまえリン!天誅だ!」

リン:(プレイヤー発言) 盾捨てて両手持ち一かばう一風の翼起動ー!

リン:(プレイヤー発言) もちろん槍でオーガに攻撃

GM:>リン どうぞ!回避は11

リン:2D6+7 合計:10 <2,1>+7

GM:あれ?

リン:「なん…だと?」

クリス:(プレイヤー発言) ダイス神…

プラリネ:(プレイヤー発言) オウフ

デューイ:(プレイヤー発言) ここで…

GM:じゃあこっちの番

GM:まずはレサオガが《リープ・スラッシュ》

GM:対象は1dで決めよ。(コロコロ)あ、プラリネだ。

プラリネ:(プレイヤー発言) こいつ!

クリス:(プレイヤー発言) 一番抵抗するところにw

GM:>クリス 言うなwwプラリネ、11に抵抗して

プラリネ:2D6+9 合計:18 <6,3>+9

プラリネ:(プレイヤー発言) ドヤァ

デューイ:(プレイヤー発言) シャドウかっけーっす

GM:ですよねーww続いてダメージ

GM:R20C13+5 合計:11 <[4\_4]> = <6>+5

GM:半減して6点で一す

プラリネ:「うぐっ」

リン:「だいじょーぶ!?!」

リン:(プレイヤー発言) FPで-1ね。



GM: あ、そうだ。そちらで減点しておいてください

プラリネ: おkです！

GM: つぎ、ゴ布林ズ

GM: 対象はさっきと同じく偶数ならプラリネ、奇数ならリン

GM: 3D6 合計: 9 <2,6,1>

リン: (プレイヤー発言) 1回そっちにってしまったー

リン: (プレイヤー発言) ……Bのをかばうよ！

プラリネ、リンともにダメージを受けるが、1、2点と軽傷。

リン: 「あたっ」

GM: ともあれ手番終了！3ラウンド目、そちらの番。

この3ラウンド目は、クリスがキュアー・ウーンズを1ゾロしたり、プラリネがダメージを与えるもわずかにHPがのこったり、リンが盛大に攻撃を外したりとダイスの気まぐれが目立つラウンドになった。

しかし、それも長くは続かないわけで……。

デューイ: レッサーオーガに《エネルギー・ボルト》！

リン: (プレイヤー発言) 抵抗抜いたー！

GM: この上なくらっております

ハサン: (プレイヤー発言) ウェーイ

クリス: (プレイヤー発言) いけえええええ

デューイ: R10C10+5 合計: 6 <[1\_3]> = <1>+5

デューイ: セーフ！

GM: レサオガ「ぐわあああああああああああ！」ずずーん。

プラリネ: (プレイヤー発言) いやったああああ

デューイ: 「ざまあみやがれ！」

プラリネ: 「やっただ！あとは……」

GM: あ、そうするとゴ布林達は「降参します……」

プラリネ: 「いい心がけだな！」ニコ

ハサン: 「コウサンルって言ってるよー」

GM: 元々戦意が高いわけじゃなかったんですよ。レッサーオーガが腹いせにこき使ってたし。

プラリネ: (プレイヤー発言) 無理やり水着だもんね…

GM: >プラリネ それはちがうww

デューイ: >プラリネ (プレイヤー発言) それはもういいww

クリス: (プレイヤー発言) >プラリネ www

## 6. お仕事達成！

デューイ: 「で、魚は？」

GM: あ、はい。そこらに転がってます。ぜんぶで10匹

リン: (プレイヤー発言) と、ということで水着を着せた後に、二度と人里に近づかないことを誓わせ

て解放？

**プラリネ:** >リン (プレイヤー発言) そうしようかwww

**GM:** ゴブ「水着、着なきやダメゴブか…」

**デューイ:** 「着んでいいww」

**クリス:** 「まずはお魚を回収ですね」

**プラリネ:** 「だな」イソイソ

**GM:** はい、さすがに魔法の影響のある氷、中身は無事です。

**GM:** これ食べようと叩いたりしてたみたい

**リン:** 「おったか～らおったか～ら♪」

**プラリネ:** 魚拾って「これは…いい武器に」キラーン

**デューイ:** 「つまみ食いはダメだぞ」

**クリス:** 「村に戻ってから調理しましょう」

**GM:** では剥ぎ取りはどなたが？

**デューイ:** 「あそっか」

**ハサン:** (プレイヤー発言) 変転もちの殿下かなー

**プラリネ:** (プレイヤー発言) ですね！

**リン:** (プレイヤー発言) そういえば切ってなかった！？

**GM:** じゃあデューイ、レサ ABC の順で 2d6 を

**デューイ:** 「すっかりわすれてたw」

**デューイ:** (プレイヤー発言) はいーい

**デューイ:** 2D6 合計:7 <4,3>

**デューイ:** 2D6 合計:8 <5,3>

**デューイ:** 2D6 合計:7 <4,3>

**デューイ:** 2D6 合計:12 <6,6>

**デューイ:** 変転いらんかった…

**プラリネ:** (プレイヤー発言) 相変わらずすごいな

**リン:** (プレイヤー発言) 変転の切りようがない…

**リン:** とりあえずオーガは 1d ね。

**GM:** ですね

**デューイ:** 1D6 合計:6 <6>

**デューイ:** ……

**プラリネ:** (プレイヤー発言) おいおいwww

**デューイ:** (プレイヤー発言) 最後に爆発してしまったw

**クリス:** (プレイヤー発言) やるなあw

**GM:** 銀貨袋(30G)×6、武器(30G)×2 と意匠を凝らした武器(150G)ですね

**プラリネ:** (プレイヤー発言) 私に分けてくださいw

**GM:** あと、もうひとつ。

**GM:** レッサーオーガから剣のかけらが 2 個。

**プラリネ:** (プレイヤー発言) いえーい！

**デューイ:** 「おお、これが剣の欠片…」

**プラリネ:** 「しぶといはずだ」うんうん

**GM:** あ、それとゴブリン達ですが、布きれ集めて水着っぽくした後、奥の穴から這う這うの体で逃げていきました。

**リン:** 「いや～レッサーオーガは強敵でしたね…」

プラリネ:(プレイヤー発言) >GM www

デューイ:「なんなんだあいつらは…」

クリス:(プレイヤー発言) ネタを拾ってるwww

GM:その奥の穴ですが、外につながっています。

プラリネ:(プレイヤー発言) パッと行く?

リン:(プレイヤー発言) サッと行く?

GM:あ、ただ外には出られないです。崖なんでww

プラリネ:(プレイヤー発言) あらら

リン:(プレイヤー発言) ごぶりいいいいん!

GM:崖の下には大きな川が流れています。

GM:で、そうだなーレンジャーの人。

リン:(プレイヤー発言) レンジャー!

GM:レンジャー+知力 B+2D 振ってみてください。何かキラキラしてる。

リン:2D6+2 合計:12 <4,6>+2

GM:それならくっきりわかるwwあのね、

GM:キラキラしてるの、マーモンのタマゴ。

デューイ:(プレイヤー発言) おおー

リン:「…?あれは、タマゴ?」

GM:どうやら、この川、マーモンの隠れ繁殖地だったようです。

クリス:「卵って…あの高級食材!？」

GM:ぶっちゃけ、サケの放流地みたいなwww

リン:「ここからじゃ行けないけどねー」

プラリネ:「!!すごいんじゃないか!!」興奮!

デューイ:「これは、報告すれば今回の損失を取り戻せるかもな」

ハサン:「天然ものデスネー」

GM:そうですね、村の人にとっても大助かりでしょう。

プラリネ:「報告だ!!」

GM:というわけで、村に戻ります。

プラリネ:(プレイヤー発言) ここまで村人が来れるか問題だが

クリス:(プレイヤー発言) 地元民しか知らない裏道があるに違いない

リン:(プレイヤー発言) もちろん川は魚 10 匹前後とランタンと殿下を持って行ったよ!

GM:>リン 了解ですwwまあ、時間経てば回復しますしね

プラリネ:(プレイヤー発言) リンかっこよすぎやわー

デューイ:「くるしゅうない」

プラリネ:(プレイヤー発言) サカナに囲まれる殿下

デューイ:「…生臭い」

プラリネ:「文句言うなー」

デューイ:「ぐう」

GM:ではみなさんは村に戻った後、事の顛末とマーモンの繁殖地のことを村長に話し、報酬の各自 400G に加え、200G とマーモン料理をいただきました

GM:あ、200G も各自ね。つまり合計 600G

プラリネ:(プレイヤー発言) いえーい!!

リン:(プレイヤー発言) わーい!

デューイ:(プレイヤー発言) ばんざーい

クリス:(プレイヤー発言) 大成功っ！

プラリネ:(プレイヤー発言) クリスに借金返す！二倍で！

リン:(プレイヤー発言) よって、私たちの仕事は大成功したといえるだろう。

クリス:(プレイヤー発言) 3\*2で6Gね、了解w

プラリネ:>クリス「遅くなったすまない。これでいいもの食べて欲しい」6G チャリーン

クリス:>プラリネ「ありがとう、また一緒に稼ぎに行きましょうね」

GM:では今回の経験点は1120点、剥ぎ取り品は合計430Gだから…

プラリネ:(プレイヤー発言) 結構倒したなー

GM:デューイの宝石も売っちゃう？

リン:(プレイヤー発言) 440であるよ。誤差だけど。

デューイ:売っちゃう売っちゃう。持ってても仕方ないし

プラリネ:>クリス「ああ、ありがたい！」

GM:じゃあ、割り切れるよう合計950Gで

GM:各自600G足した後、さらに190G足してください。

プラリネ:(プレイヤー発言) 一気に金持ち！

GM:かけら振りしたい人ー

プラリネ:(プレイヤー発言) 遠慮する

クリス:(プレイヤー発言) 同じく遠慮します(1ゾロ怖い)

リン:(プレイヤー発言) クリティカルだせなかったしなー

ハサン:じゃあ1個フツチャウヨー

プラリネ:(プレイヤー発言) うん

GM:どぞ

デューイ:ドウゾドウゾー

ハサン:1D6 合計:4 <4>

GM:もう一個は？

デューイ:じゃあ僕が

ハサン:「ロッド:マアマアダナー」

デューイ:1D6 合計:6 <6>

デューイ:………今日はおかしい

プラリネ:(プレイヤー発言) どうなってるんだーい

リン:(プレイヤー発言) アイテム運がすごいのう

ハサン:「参りマシター」

GM:では全員、名誉点10ゲットです

クリス:(プレイヤー発言) なんて強運だw

プラリネ:(プレイヤー発言) いえーい！！

デューイ:「ふふん」

GM:ではエピローグ。

GM:こうして、小さな村の危機を一つ救った黒の切り札亭。

GM:懐かしの宿に帰ると、そこに待っていたのは見慣れたドワーフの店主。

GM:これからもこの店には助けを求める声がかかるだろう

GM:だが、心配はいらない。ここには頼りになる「冒険者」がいるのだから……

GM:というわけでシナリオ終了です！おつかれさまでした！